

伊方原子力発電所環境安全管理委員会（H29.8.31）で

取りまとめられた意見

1 平成28年度伊方原子力発電所周辺環境放射線等調査結果

空間放射線の測定結果については、伊方発電所からの放出と考えられる線量率の変化は認められない。

また、環境試料の核種分析結果については、一部の環境試料から、セシウム-137等が検出されたが、微量であり、人体への影響上問題となるような濃度は認められていない。

なお、福島第一原子力発電所事故の影響は、認められなかった。

2 平成28年度伊方原子力発電所温排水影響調査結果について

特に問題となるものは、認められない。

また、伊方発電所3号機の再起動の影響により、放水口の温度上昇が若干見られるが、過去の起動時の調査結果と比較して特段大きな違いはなく、問題となるものは、認められない。

3 伊方発電所1号機の廃止措置計画について

伊方発電所1号機について、廃止措置の全体計画及び第1段階の具体的事項に関して、廃止措置計画の認可の基準に適合していることを確認したとする原子力規制委員会の審査結果は妥当なものであると判断する。

また、「廃止措置期間中の安全確保等」、「低レベル放射性廃棄物の処分」、「今後の段階的な確認」の3点について、県から四国電力及び国へ要請することを求める。

（添付：伊方発電所1号機の廃止措置計画に関する原子力安全専門
部会報告書）